



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場会社名 日本システムウエア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9739 URL <http://www.nsw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 多田 尚二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員副社長 (氏名) 桑原 公生 (TEL) 03-3770-1111
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	21,252	2.0	1,387	21.8	1,439	22.4	1,003	33.4
28年3月期第3四半期	20,825	6.8	1,138	22.2	1,175	17.8	752	19.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 967百万円(29.5%) 28年3月期第3四半期 747百万円(18.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	67.35	—
28年3月期第3四半期	50.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	20,771	14,841	71.5
28年3月期	21,018	14,151	67.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 14,841百万円 28年3月期 14,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	3.5	2,000	△1.0	2,000	△3.1	1,300	6.2	87.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	14,900,000株	28年3月期	14,900,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	230株	28年3月期	230株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	14,899,770株	28年3月期3Q	14,899,808株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値等が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持しつつも、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題、米国大統領選などの海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

情報サービス産業界におきましては、国内経済の先行きに懸念はあるものの、金融業や製造業を中心にIT投資は引き続き堅調に推移しております。また、IoTやビッグデータ活用ニーズが拡大するとともに、AIやフィンテックなど新たなソリューションへの期待が高まってきております。

このような状況の下、当社グループは、今年度スタートした中期経営計画において事業変革を加速する「DriveInnovation」をスローガンに掲げ、「IoT分野の事業拡大」、「コア事業の顧客基盤強化と高付加価値化」に取り組んでおります。NSWグループの総合力と技術融合により、お客様のビジネスにイノベーションをもたらす価値創造パートナーとして持続的成長を遂げる企業を目指してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は223億47百万円（前年同期比4.0%増）、売上高は212億52百万円（同2.0%増）、営業利益は13億87百万円（同21.8%増）、経常利益は14億39百万円（同22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3百万円（同33.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<ITソリューション>

売上高につきましては、ソリューション事業における製造業向け、官公庁向け開発案件、ならびにシステム運用事業などが堅調に推移し、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増、不採算案件の減少、および生産性の改善などにより、増益となりました。これらの結果、受注高は130億74百万円（前年同期比8.1%増）、売上高は125億48百万円（同5.9%増）、営業利益は4億57百万円（同182.9%増）となりました。

<プロダクトソリューション>

売上高につきましては、デバイス開発事業が堅調に推移するとともに、組込みソフトウェア開発事業におけるオートモーティブ分野ならびにモバイル分野が増加したものの、通信インフラ分野の減少に伴い、全体として減収となりました。利益につきましては、減収に伴い減益となりました。これらの結果、受注高は92億73百万円（前年同期比1.3%減）、売上高は87億4百万円（同3.1%減）、営業利益は9億30百万円（同4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、207億71百万円となり、前連結会計年度末比2億47百万円の減少となりました。これは主に、仕掛品の増加(6億87百万円)があったものの、受取手形及び売掛金の減少(11億76百万円)があったことによるものです。

総負債は、59億30百万円となり前連結会計年度末比9億36百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少(5億37百万円)、賞与引当金の減少(5億10百万円)があったことによるものです。

純資産は、148億41百万円となり、前連結会計年度末比6億89百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、有形固定資産の取得及び配当金の支払などの支出を営業活動の結果得られた資金により賄い、前連結会計年度末と比べ69百万円増加し36億27百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億39百万円(前年同期比39百万円の収入の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14億64百万円、売上債権の減少額11億77百万円、たな卸資産の増加額7億74百万円、賞与引当金の減少額5億10百万円、法人税等の支払額9億35百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億85百万円(前年同期比33百万円の支出の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億14百万円、投資有価証券の売却による収入52百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億64百万円(前年同期比20百万円の支出の増加)となりました。これは、配当金の支払額3億64百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に発表しました業績予想に対し概ね計画通り進捗しており、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が94百万円、利益剰余金が94百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,557,361	3,627,069
受取手形及び売掛金	7,216,516	6,040,174
商品	201,810	289,656
仕掛品	723,042	1,410,237
貯蔵品	2,992	2,391
繰延税金資産	410,467	146,570
その他	191,126	599,579
流動資産合計	12,303,317	12,115,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,752,145	2,666,199
工具、器具及び備品（純額）	385,998	350,066
土地	3,861,051	3,861,051
その他（純額）	5,548	1,017
有形固定資産合計	7,004,744	6,878,334
無形固定資産		
ソフトウェア	77,429	63,904
その他	18,655	18,655
無形固定資産合計	96,085	82,559
投資その他の資産		
投資有価証券	104,997	58,782
繰延税金資産	564,439	687,818
その他	963,471	961,165
貸倒引当金	△18,562	△12,859
投資その他の資産合計	1,614,345	1,694,907
固定資産合計	8,715,174	8,655,801
資産合計	21,018,492	20,771,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,946,117	1,596,276
未払法人税等	576,836	39,017
未払消費税等	259,272	221,012
賞与引当金	884,305	374,150
工事損失引当金	14,283	—
その他	1,007,956	1,430,954
流動負債合計	4,688,772	3,661,412
固定負債		
役員退職慰労引当金	310,062	310,062
退職給付に係る負債	1,834,634	1,924,985
資産除去債務	33,215	33,655
固定負債合計	2,177,911	2,268,702
負債合計	6,866,684	5,930,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500,000	5,500,000
資本剰余金	86,080	86,080
利益剰余金	8,533,472	9,258,842
自己株式	△145	△145
株主資本合計	14,119,406	14,844,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,319	2,146
為替換算調整勘定	25,212	5,627
退職給付に係る調整累計額	△12,130	△11,184
その他の包括利益累計額合計	32,401	△3,409
純資産合計	14,151,808	14,841,366
負債純資産合計	21,018,492	20,771,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	20,825,961	21,252,623
売上原価	17,397,602	17,605,778
売上総利益	3,428,358	3,646,845
販売費及び一般管理費		
役員報酬	104,497	90,052
執行役員報酬	62,640	81,207
給料及び賞与	1,090,785	1,005,418
退職給付費用	54,816	53,625
福利厚生費	212,601	196,482
通信交通費	111,101	108,908
業務委託費	119,966	124,475
賃借料	87,684	83,529
貸倒引当金繰入額	368	—
その他	445,059	515,807
販売費及び一般管理費合計	2,289,521	2,259,508
営業利益	1,138,837	1,387,336
営業外収益		
受取利息	166	228
受取配当金	2,154	1,813
投資有価証券償還益	—	17,846
その他	38,401	34,365
営業外収益合計	40,722	54,254
営業外費用		
支払利息	0	—
債権売却損	2,022	2,300
為替差損	1,938	—
その他	33	125
営業外費用合計	3,994	2,425
経常利益	1,175,565	1,439,166
特別利益		
固定資産売却益	13	26
投資有価証券売却益	—	25,861
特別利益合計	13	25,888
特別損失		
固定資産除却損	6,926	190
減損損失	899	—
特別損失合計	7,826	190
税金等調整前四半期純利益	1,167,752	1,464,864
法人税、住民税及び事業税	276,517	224,543
法人税等調整額	138,823	236,785
法人税等合計	415,341	461,329
四半期純利益	752,411	1,003,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	752,411	1,003,535

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	752,411	1,003,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,894	△17,172
為替換算調整勘定	△341	△19,584
退職給付に係る調整額	351	946
その他の包括利益合計	△4,883	△35,811
四半期包括利益	747,527	967,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	747,527	967,724

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,167,752	1,464,864
減価償却費	346,918	380,550
貸倒引当金の増減額(△は減少)	368	△388
賞与引当金の増減額(△は減少)	△410,779	△510,155
工事損失引当金の増減額(△は減少)	22,762	△14,283
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	102,582	90,350
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,179	—
受取利息及び受取配当金	△2,321	△2,042
支払利息	0	—
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△25,861
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△17,846
固定資産売却損益(△は益)	△13	△26
固定資産除却損	6,926	190
売上債権の増減額(△は増加)	1,711,443	1,177,402
たな卸資産の増減額(△は増加)	△793,283	△774,440
仕入債務の増減額(△は減少)	△392,995	△349,741
未払消費税等の増減額(△は減少)	△410,817	△38,261
その他	86,647	191,962
小計	1,432,013	1,572,272
利息及び配当金の受取額	2,321	2,042
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△842,911	△935,099
その他	8,789	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	600,212	639,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△198,438	△214,975
有形固定資産の売却による収入	22,767	—
無形固定資産の取得による支出	△18,878	△8,581
投資有価証券の取得による支出	—	△15,876
投資有価証券の売却による収入	—	52,212
投資有価証券の償還による収入	—	34,807
敷金及び保証金の差入による支出	△2,293	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,944	1,177
保険積立金の積立による支出	△8,596	△8,596
その他	△15,434	△25,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,928	△185,389
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23,156	—
配当金の支払額	△320,387	△364,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,544	△364,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	△341	△19,584
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,398	69,708
現金及び現金同等物の期首残高	2,516,189	3,557,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,553,588	3,627,069

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	I T ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	11,876,158	8,949,802	20,825,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	△30,010	30,010	—
計	11,846,148	8,979,812	20,825,961
セグメント利益	161,564	977,273	1,138,837

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんについては該当事項がないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	I T ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	12,512,412	8,740,211	21,252,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,138	△36,138	—
計	12,548,550	8,704,072	21,252,623
セグメント利益	457,067	930,269	1,387,336

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。